

## 47. 洗濯章

考查細目	考查方法	合格年月日	認印
(1) 取り扱い絵表示を理解し説明できること。	口述または記述		
(2) 自分の下着類、靴下を洗濯し、ユニフォーム、ネックチーフやハンカチ等にアイロン仕上げができること。	実演		
(3) 自宅の洗濯機の特徴を知り、使いこなせるか、実際に操作ができること。	口述または記述		
(4) ドライクリーニングと水洗いの違いについて説明できること。	口述または記述		
(5) 酸素系漂白と塩素系漂白の違いと使用方法を知ること。	実演および口述または記述		
(6) 汚れの種類を3種以上あげ、それに適したクリーニング方法を説明できること。	実演および口述または記述		
(7) 環境に適した野外での洗濯方法と使用石けん及び洗濯汚水の処理を考えること。	口述または記述		

考查課目の全てに合格したことを証明します。

年 月 日 技能章考查員 印

## 48. 測量章

考查細目	考查方法	合格年月日	認印
(1) 歩測が誤差5%以内で正しく行えること。(草地、道路、砂礫地など地表の状況が異なる200m×200m以上の平らな場所で、それぞれあらかじめ定められた2点間を3回歩測し、誤差の平均が5%以内であること)	実演		
(2) 簡易(見通し式)測量法を知り、相似三角形を利用して川幅が測定できること。	実演		
(3) 高さの測定法を3種以上知り、その内2つ以上を実演すること。	実演		
(4) 次の簡易測量器を自分で作り、実際に使用できること。 ア 仰角簡易測器および正切簡易測器 イ 厚紙(3cm×31cm)に次の縮尺の目盛りを付けた簡易直定規を作成1/200、1/250、1/500	作品(簡易測量器)の提出および実演		
(5) 三平方の定理を応用して、巻尺またはコンベックスを使って、直角を出す方法を熟知する。	口述または記述 実演させてもよい		
(6) 自分の家あるいは隊本部付近のおもな建物、鉄道、道路、その他目標となる地物を含む2km×1km程度の地域の実測図をコンパス、自製の測量器、歩測等を利用して作製(縮尺1/1200~1/1500)し、野帳その他の資料を添えて提出すること。	報告書(実測図)の提出		
(7) トランシットを実際に操作し、歩測簡易測器で測量した結果との相違を知る。	実演		

考查課目の全てに合格したことを証明します。

年 月 日 技能章考查員 印

## 49. 測候章

考查細目	考查方法	合格年月日	認印
(1) 次の計測器の構造と用法を知ること。 ア 風向計 イ 温度計 ウ 気圧計 エ 風力計 オ 雨量計	口述または記述		
(2) 雷、及び避雷の方法について説明できること。	口述		
(3) 少なくとも1か月以上、毎日同時刻に気温、湿度、雲向、雲量の観測を実施し、その記録を作成すること。	報告書(観察記録)の提出		
(4) 自然現象や生物の行動の様子を観察して行う天候の予測法(観天望気)を3種以上知ること。	報告書(観察記録)の提出		
(5) 風力の階級を知り、実際に判定すること。	口述または記述		
(6) 気温、飽和水蒸気圧と気候の関係、及び高気圧、低気圧、各種前線について知ること。	口述または記述		
(7) 天気図を判読できること。また、自分で天気図を書き、簡単な説明ができること。	記述(天気図) 実演(解読)		
(8) 天気予報が出されるまでの作業課程の概要を説明し得ること。台風、梅雨、霜、雷の発生原因と時期について知ること。	記述		

考查課目の全てに合格したことを証明します。

年 月 日 技能章考查員 印

## 50. 鳥類保護章

考查細目	考查方法	合格年月日	認印
(1) その地方にすむ鳥類10種以上の名称、形態、習性を知ること。(渡り鳥を含む)	口述または記述		
(2) 鳥類の保護、禁猟期及び、禁猟区についての法規を知ること。	口述または記述		
(3) 農業及び林業に害を与える昆虫、雑草の種、または野ネズミなどを捕獲、駆除する鳥類について、その10種以上の名称、形態、色彩、生態、分布を簡単に記述した表を作成すること。	報告書の提出		
(4) 3つの異なる生息地(野原、林野、農地、沼沢、川岸、海岸など)のそれぞれにおいて、1種以上の鳥の生態を観察し、写真またはスケッチを付した観察記録を作成すること。	報告書(観察記録)の提出		

考查課目の全てに合格したことを証明します。

年 月 日 技能章考查員 印